

# 総合計画 基本目標 5+1

将来都市像の実現に向けた、10年間の総合的な政策展開の方向性となる5つの基本目標と、基本目標を支える土台を紹介します。

## 1 自然と共生し誰もが安全安心に暮らせる市民主体のまち

- 地域コミュニティ活動や市民活動の振興
- 多様性・多文化共生と男女共同参画の推進
- 安全安心な市民生活の確保
- 防災体制の充実
- 消防・救急体制の充実
- 水と緑豊かな自然環境の保全と共生
- ごみの減量と適正な処理の推進
- ゼロカーボンの推進
- 自衛隊との連携・協力



## 2 共につながり支えあい誰もが生き生きと暮らし続けられるまち

- 福祉サービス・福祉事業の充実
- 重層的支援体制整備事業の推進
- 地域包括ケアシステムの推進
- 生涯を通じた健康づくり・生きがいづくりの推進
- スポーツを通じた健康づくりの推進
- 地域に根ざした持続可能なスポーツ環境の整備



## 3 まちの魅力を生かした交流やにぎわいが生まれるまち

- シティプロモーションの推進
- 花のまちづくりの推進
- 観光地域づくりの推進
- 農業・商工業の振興
- 企業誘致や雇用の促進



## 4 機能的な都市空間を形成し 利便性が高く快適に暮らせるまち

- 都市基盤施設の整備・機能維持
- 魅力ある市街地の形成
- 新たな市街地整備の推進
- 交通ネットワークの形成



## 5 ふるさに誇りをもって健やかに成長し人と文化が育まれるまち

- 子ども・子育て支援の充実
- 小中学校教育の充実
- 青少年・社会教育・読書活動の充実
- 文化・芸術活動の充実
- 文化財保護・活用の推進
- 高等学校・高等教育機関との連携



## 将来都市像の実現に向けた行政運営

# 土台

- 行政と市民との情報共有や市政情報の発信
- 健全な財政運営
- 行政改革・事務改善・デジタル化の推進
- 公共施設マネジメント
- 人財としての職員育成
- 広域行政の推進
- 姉妹都市・友好都市連携



# そもそも……計画って誰が決めるの？

**Q.** 計画って勝手に決められてるの？

**A.** 市民の皆さんも参加できます！

市では、新規・改定を含め、毎年多くの計画を策定しています。市民の皆さんにも関わる計画を策定する時には、審議会などの委員会でも内容を検討します。会議には市職員だけではなく、関係団体の役員や推薦を受けた人、公募委員として選ばれた市民なども参加します。

また策定した計画は、その案を公表し、広く市民の皆さんから意見・情報を募集する手続き（パブリックコメント）を経て決定します。パブリックコメント実施予定の計画については、毎年春に広報えにわ、市ホームページでお知らせするほか、実施時にもお知らせ。実施結果は、市ホームページなどで公表されます。



**Q.** 総合計画にも市民が参加したの？

**A.** 多くの「声」をいただきました

市の最上位計画に位置づけられている「総合計画」。策定にあたっては、恵庭市まちづくり基本条例第21条第3項で、「市は、総合計画の策定に当たっては、市民の意見を反映させるため、関係する情報の提供に努めるとともに、広く市民の参加を求めるものとします。」と規定されています。

計画の策定にあたっては、令和6年度から市民意識調査や市民ワークショップ、シンポジウムなどを行い、多くの市民の皆さんに参加いただきました。「恵庭市総合計画審議会」での意見集約を経て策定された計画（案）は、パブリックコメント実施後、議会の承認を経て完成しました。



## 総合計画策定時も市民の皆さんから多くの声をいただきました

計画策定には、3,000人を超える市民の皆さんに協力いただきました。

特に、中学生から大学生の若年層からも意見を聞く機会を設け、「えにわのまちづくり」について考えるきっかけとしてもらいました。



市民参画の取り組み	対象(参加)人数
市民意識調査	2,000人
市民まちづくりワークショップ	公募市民 18人
分野別まちづくりワークショップ	延べ 62人
地域別まちづくりワークショップ～市民の広場～	延べ 151人
中学生講座＆アンケート	663人
高校生・専門学校生・大学生からの意見募集	
シンポジウム	約 100人
総合計画審議会	公募委員含む 20人

